

# EA166AH(エア・ハイロックスリッター)取扱説明書

Ver.1.1

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

- ・リッターを使用する時は安全メガネを必ず着用してください。
- ・リッターを使用しない時はツールをエアラインから離してください。
- ・リッターを人間や生き物に対して向けないでください。
- ・常に子供の手の届かない所に保管、管理してください。

## ●仕様

- ・オイル漏れを防止する二重Oリング
- ・エア使用量を一定に保つエアシャットバルブ
- ・バキュームエア量は調整可能
- ・付属ノズルピース…3/32"、1/8"、5/32"、3/16"  
注意: 3/32"、1/8"、5/32"をセットする時はジョープッシャー(#5)を外し  
プッシャーチューブ(#69)を取り付けてください。



## ●準備

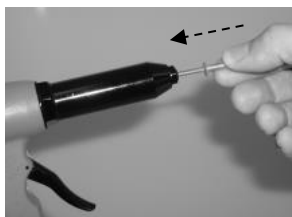
1. リッターを使用する前に適切なリベットサイズを確認します。当製品は工場出荷時に3/16"のノズルピースが装着されています。
2. もし、3/32"、1/8"、5/32"のサイズを使用する時は、本体からジョープッシャー(#5)を外し、プッシャーチューブ(#69)を取り付けてください。
  - ・ノズルピース(#1)、ヘッド(#2)を本体から外します。ノズルピースは11mmスパナを使用して外してください。
  - ・ジョーカプラーハウジング(#8)からジョーハウジング(#3)を外します。ハウジングを外した時、ジョープッシャー(#5)とジョー(#4)3個が一緒に外れます。ジョープッシャー(#5)のみを外してください。
3. プッシャーチューブ(#69)の金属管側をスプリング(#6)に差し込むと、ツールから突き出た状態になります。ハウジングの中にジョーを戻し、ハウジングジョーカプラー(#8)にねじ込んで戻します。17mmスパナを使用してしっかりとねじ込んでください。共回りするのを防ぐため、スパナを2丁使用する事をお勧めします。
4. 注意: ジョーはハウジングの中で正しく並べてください。ハウジングの狭い方を下に向け、ジョーの先が3つともそこから出ている状態にしてください。ギザがある方が内側です。ジョーが正しく配置されていませんと、リッターは正しく作動しません。
5. 注意してヘッド(#2)をねじ込んで戻します。ジョーは正しくセットされているか確認してください。最後に適切なノズルピース(3/32"、1/8"、5/32")を取り付けます。  
注意: ノズルピースを取り付ける時は、ジョーを少し本体に押し込んだ方が取り付けやすいと思われます。ノズルピースは11mmスパナを使用して取り付けてください。
6. リッターの後部に軸受けカップ(#66)を押し込んで取り付けます。ねじ込まないでください。
7. エアラインにツールを接続しジョーが正しく作動するか確認してください。

## ● 使用方法

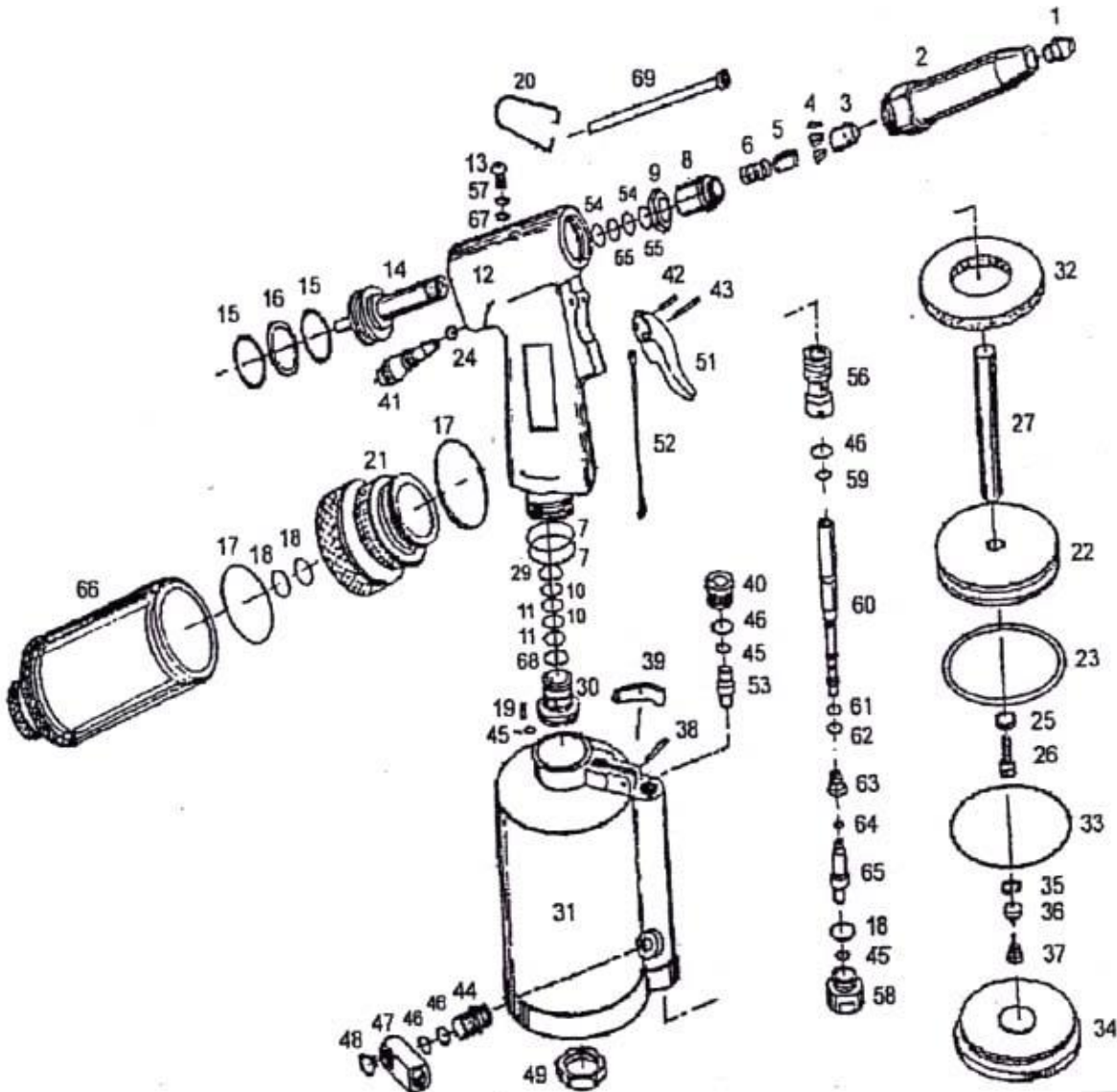
1. エア吸入口 (#47) に 1/4" PT オネジを持つプラグ等を取り付け、エアラインと接続します。エア供給量は 0.8MPa を超えないようにしてください。
2. トリガー (#51) を絞るとバキュームシステムが作動します。
3. リベッターにリベットの軸側を差し込みます。リベットはバキューム効果でリベッターに保持されます。もしリベットがリベッターから落ちる時は、バキューム効果が弱いので調整ネジ (#65) (軸受けカップの下あたりにあります。) を調整します。反時計方向に回すと、真空効果が増加します。、時計方向に回すと減少します。  
リベットの軸が長いほど、保持するためには真空度が強くなければなりません。
4. トリガーを開放すると、ちぎれたリベット軸が軸受けカップの中に排出されます。
5. 軸受けカップは 1/3 以上入れないでください。圧力装置に損傷を与える可能性があります。カップを空にする時は、カップ後部のノブを回して、ふたを開けて取り出してください。空にしたらカップのふたを閉めてください。
6. 当製品はエア使用量を調節するシャットバルブを装備しています。リベッターを平らな面に置いた時、本体底面のバルブがエアをとめます。再度使用する時はリベッターを持上げて、トリガーを絞ってエアを送り込んでください。

## ● メンテナンス

1. 軸受けカップが 1/3 以上になる前にカップから取り出してください。1/3 以上になると圧カプランジャーに悪い影響を与えます。
2. ジョー部分は金属屑やオイル等が付着していないように確認してください。ジョー部分はノーズピース (#1) とヘッド (#2) を外して、ハウジング内のジョーを取り出し、ワイヤーブラシなどでギザの部分に付いた屑を取り払います。清掃が完了したら、ジョーのギザ側を内にしてハウジング内に入れ組み立て直します。ヘッド (#2) を取り付けノーズピースも取り付けてください。  
注意: ノーズピースを取り付ける時は、ジョーを少し本体に押し込んだ方が取り付けやすいと思われます。ノーズピースは 11mm スパナを使用して取り付けてください。
3. 長期間使用するとツールの潤滑油が減少しますので注油してください。ストロークが減少するとオイル不足のめやすとなります。
  - ・一番大きなサイズのノーズピースをツールに取り付けておいてください。オイルを充填した時のテスト確認の際に必要になります。
  - ・リベッターをエアラインから切り離してください。六角棒レンチを使用してオイルプラグ (#13) を外してください。
  - ・適切なオイル(粘度: ISO VG #32) をカップに取り、付属の注射器でメモリ 9 の所まで吸上げます。
  - ・オイルプラグ (#13) を外した穴に注射器のノズルを差し込み、ツールにオイルを供給するため、ゆっくりと注射器のプランジャーを押し込みます。
  - ・オイルプラグをツールに取り付けてトリガーを 2~3 回押します。オイルレベルをテストするためにノーズピースにリベットを差し込みます。軸がノーズピースに完全に差し込めたら良好です。リベットの頭が出る様でしたらオイルが多すぎますので、その分を除去してください。



- ・オイルを除去する時はオイルプラグ(#13)を約1/4回転緩めます。トリガーを何回か押してリベッターに空気を通します。トリガーを押す毎に緩めたプラグからオイルが漏れ出します。
- ・必要に応じてトリガー操作をし、余分なオイルをツールから排除し、ノズルピースにリベットが完全にはまるまで行います。完全に調整できたらオイルプラグ(#13)を六角レンチでしっかりと締めてください。



株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号  
 TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

17.Apr.